

令和7年第9回教育委員会定例会 会議録

1 開催日時 令和7年9月12日（金）午後1時30分～午後2時10分

2 開催場所 春日井市役所9階 教育委員会室

3 出席者

【教育長】 児島 靖

【委員】 浅井 敦臣

【委員】 竹田 卓弘

【委員】 向 文緒

【委員】 河合 香吏

【事務局】 教育部長

いきがい創生部長

教育総務課長

同 課長補佐

同 主任

学校教育課長

同 主幹（教）

同 主幹（事）

同 指導主事

同 課長補佐

学校給食課長

文化財課長

野外教育センター所長

同 主幹

いきがい推進課長

図書館長

森本 邦博

塚本 滋

宮寄 英介

田之上 愛子

倉知 美香

前原 敦

梶田 英男

梶田 傑

湯浅 公

山崎 俊介

加藤 純也

北野 将好

神戸 明子

坂野 年伸

大野 利重

松田 健作

4 議 題

(1) 教職員等の処分について

5 報 告

(1) 春日井市子ども読書活動推進計画の改定の方針について

6 議事概要

教育長

本日の傍聴者は1名。

教育長

春日井市教育委員会会議規則第6条第2項の規定により、会議録署名人は、浅井委員を指定。

教育長
(報告事項)

本日は少し涼しいが、まだまだ暑い日が続いている。ただ、以前に比べると、朝晩は幾分か秋を感じられるようになってきた。暦の上では、今は白露の時期で、草木に白い露が付くようになる頃である。ゆっくりだが、一歩ずつ秋に近づいていると感じる。

学校では夏休みが終わり2学期がスタートし、子どもたちの教育活動も順調に進んでいる。

今年も8月26日から1泊2日の日程で、イングリッシュキャンプを少年自然の家で行った。参加者は、2日間英語のみで会話するもので、今年は67名が参加した。自己紹介の後、給食のメニューとしてサボテン料理のレシピをグループで話し合い、2日目に、全員の前で英語で発表した。また、同じく8月26日に、かけっこマイスター教室をスポーレ春日井で行った。今年は65名が参加した。当日は、気温がさほど高くなく、運動をするには良い環境だった。指導者のユーモアで楽しく走り方の指導が行われ、最後には、大会と同じ機械でタイム計測をした。参加者にとって楽しさと真剣さが両立した貴重な体験となった。

8月27日は、小学生男鹿市交流学习報告会を行った。参加した児童は3グループに分かれ、交流学习で見聞きしたり、感じたりしたことを発表した。プレゼンテーションソフトを使い、決められた時間内での工夫した発表に、市長や保護者は拍手を送っていた。

春日井市教育委員会と出川小学校は、5月12日に次期学習指導要領の検討をしている文部科学省中央教育審議会企画特別部会で、現在出川小学校で研究している情報活用能力の育成のために、年間35時間行っている情報の時間について発表をした。そして9月5日に、次期学習指導要領の考え方と基礎となる論点整理の案が文科省から発表された。その中で、情報活用能力を培っていくために、総合的な学習の時間の中に情報の領域を作る案が示された。春日井市が長年取り組んできた情報活用能力の育成が教科としてではな

いが、いよいよ全国へカリキュラムが組まれ、行われることになり
そうである。

10月31日に、出川小学校と高森台中学校で研究開発学校の研究
発表会を行う。

今年の秋の運動会、体育大会は、9月の終わりに中学校1校、10
月に小学校20校、中学校9校、11月に小学校2校が行う。練習を
含め、実施にあたっては、熱中症予防に十分配慮するように指示し
た。

9月22日より後期の学校訪問が始まる。

教育長 「議題(1)教職員等の処分について」は、地方教育行政の組織及び
運営に関する法律第14条第7項ただし書きを適用して非公開とす
ること及び審議の順序を入れ替えることを提案。

教育長 議題(1)について、採決の結果、全員一致で「非公開」とし、「審
議の順序を報告及び参考資料説明後にする」ことを決定。

教育長 1 報告事項

(1) 春日井市子ども読書活動推進計画の改定の方針について

図書館長 「春日井市子ども読書活動推進計画の改定の方針について」説
明。

現在の第4次子ども読書活動推進計画は令和3年3月に策定後、
計画期間は令和7年度までとなっている。このため、今年度中に令
和8年度から12年度までの5か年を計画期間とする次期子ども読
書活動推進計画を策定する予定であったが、新規の策定を延期し、
現計画を2年延長するものである。第2次春日井市生涯学習推進計
画、第2次かすがい市民文化振興プランが令和9年度に終期を迎え
る。既存計画の改定において、より効果的な施策の推進や事務の効
率化のため、計画の改定時期にあわせ、生涯学習や市民活動、読書
などの計画等を統合し、本市の生きがいくりの方向性を示す「(仮
称)いきがい創生計画」の策定を検討することが、延長の主な理由
である。延長計画に盛り込む主な内容は、第4次計画で定めた基本
理念及び基本目標を推進すること、施策及び具体的な取組を実施す
ること、また、目指す目標値を再設定していくことである。なお、

	これらを盛り込んだ延長計画は、図書館協議会において御意見をいただいた後、1月に開催の定例教育委員会と閉会中の市民経済委員会において報告する予定である。
向委員	子ども読書活動推進計画は、国の子ども読書活動の推進に関する法律に基づいて計画されていると思うが、生涯学習の振興のための施策の推進体制等の整備に関する法律や文化芸術振興基本法、そういったものに基づいて作られている春日井市民文化振興プランや春日井市生涯学習推進計画などをすべて統合していくということか。
図書館長	今後内容を検討していくが、生涯学習推進計画、市民活動関係の指針、読書計画など様々ある中で、主なものを統合し、一部は別の方針を決めていくことも考えている。調整した後、また報告する予定である。
向委員	市の図書館が、生涯学習、社会教育の部分だと思うが、学校の図書室は、学校教育の枠の中で行われているものだと思う。推進計画を立てる時に、どのように教育委員会と文化振興とが連携するのか。
図書館長	基本的には、この計画をたてる時に小学生、中学生を含む市民の皆様アンケートを取っている。学校にも図書室はあるが、この計画の内容としては、小学生や中学生はどのように読書しているか、興味があるのか、そういうことに重きを置いて行っている。計画の統合について、文部科学省からも他計画などに置き換えていくことも問題ないと指示されている。生涯学習という観点から、子どもだけではなく、生涯にわたって読書は推進していくべきものなので、春日井市にある生涯学習の計画をまとめていく時の一つとして、子どもの読書計画についても入れていこうと考えている。
向委員	重複する法律が次々作られ、計画をたてるよう言われて、確かに事務が煩雑になっているので、統合することによりすごくスリムになって良いと思う。 これはいきがい創生部が主たる担当となるのか。

図書館長	いきがい創生部内にあるものを統合していこうと考えている。
向委員	教育委員会に関連で関わるということか。
図書館長	教育委員会には意見を聞いていきたい。学校を通じてアンケートなどを行っていかないと意見が集約できないので、先生方をお願いしていくことになると思う。
向委員	学校の図書室には司書がおらず、様々な意見も出ていると思う。幼稚園や保育園は、図書館の職員が巡回して支援しているようだが、学校にはそういう巡回支援は行われているのか。
図書館長	図書館は、学校にも支援している。例えば、小学校では、ボランティアやPTAの方が本の修理などを行っているが、どうしたら良いかという話があった場合、図書館から司書の資格を持った者が伺い、案内や説明をしている。また、小学生が図書館見学に来た際には、図書館内を案内している。
竹田委員	小学生の不読率の今の実績はどうなっているか。
図書館長	令和4年の愛知県の状況としては、小学生の不読率は10%、中学生が16.7%、高校生は46.9%となっている。
竹田委員	春日井市はデータを取っていないのか。
図書館長	春日井市はまだ行っていない。今回、延長して次の計画を策定する時に、アンケートをとって、不読率を把握する予定である。
竹田委員	資料3ページに不読率が掲載されているが、これは春日井市のデータで、これから先のデータはまだないということか。
図書館長	そのとおりである。
向委員	不読率の調査は、あくまで紙媒体の本を対象にしているのか。デジタル図書は、対象としていないのか。

図書館長	デジタル図書も対象にしていると思うが、正確な内容については、方針が決定し報告する際に、あわせて説明させていただく。 ○参考資料について
学校教育課長	2点追加で報告する。1つ目は、10月7日に不登校の児童生徒の親の支援として、「不登校をともに考える講演会」を文化フォーラム春日井で行う。今回100人を上限として募集したところ、116人の応募があり、全員当選として通知を送った。講演会の内容は、スクールカウンセラーの山口力氏を迎えて、講演会と過去に不登校の子を持ち悩んでいた保護者の方とのトークセッションを行ってもらい、経験談を話していただく予定である。昨年までは、親の会として少人数の会を行っていたところ、自身のことを話すのは勇気がいるので、その場に来ることができない人もいないのではないかという意見や、講演会を開いてほしいという意見があったので、今年は講演会を開催する。2つ目は、9月17日に、全校の教頭先生を対象とし、教職員の不祥事の防止、コンプライアンスの順守を目的に、教員向けの研修会を開催する。
河合委員	不登校支援の講演会は、会場に来た人しか見ることができないのか。オンラインなどで、後で見ることにはできるのか。
学校教育課長	今のところ、オンラインは考えていない。
河合委員	行きたくても行くことができない人もいると思うので、何かサポートがあると良いのではないかな。次回があれば、そういうことも考えていただけるとありがたい。また、児童生徒も一緒に見ることができるが一番良いと思う。
学校教育課長	講師の方と調整していきたいと思う。
河合委員	18ページに「野外教育センターのトンボについて」という一般教室が記載されているが、何か特別なトンボなのか。どのような内容の教室なのか。

野外教育センター主幹	トンボについて研究している小学生がおり、その児童が講師となりトンボについて説明するという内容である。昨年は少年自然の家で開催したが、今回はギフチョウの幼虫が食べるカンアオイの話とあわせて、都市緑化植物園で開催した。
教育長	2 議題（非公開） (1) 教職員等の処分について

上記のとおり、議事の経過及びその結果を明確にするためにこの会議録を作成し、教育長及び指定された会議録署名人が署名する。

令和7年10月22日

教育長 児島 靖

署名人 浅井 敦臣